

## 平成28年5月期経営状況概要

(単位：千円)

項目	予算額 (繰越含む)	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	執行+支出負担	対予算比
<b>8. 水道事業収益</b>	<b>2,698,040</b>	<b>204,099</b>	<b>397,549</b>	<b>14.7%</b>	<b>2,300,491</b>		
1. 営業収益	2,302,614	199,859	387,241	16.8%	1,915,373		
1. 給水収益	2,271,024	199,193	385,814	17.0%	1,885,210		
2. 受託工事収益							
3. その他営業収益	31,590	666	1,427	4.5%	30,163		
2. 営業外収益	395,043	4,086	10,155	2.6%	384,888		
3. 特別利益	383	154	154	40.1%	229		
<b>9. 水道事業費用</b>	<b>2,560,833</b>	<b>70,405</b>	<b>97,763</b>	<b>3.8%</b>	<b>2,463,070</b>	<b>553,592</b>	<b>21.6%</b>
1. 営業費用	2,294,512	70,380	97,648	4.3%	2,196,864	553,127	24.1%
1. 原水及び浄水費	467,911	29,789	41,959	9.0%	425,952	245,992	52.6%
2. 配水費	297,643	13,026	19,672	6.6%	277,971	84,789	28.5%
3. 給水費	106,096	5,082	6,354	6.0%	99,742	25,005	23.6%
4. 受託工事費							
5. 業務費	160,199	12,871	13,881	8.7%	146,318	146,374	91.4%
6. 総係費	176,927	9,611	15,783	8.9%	161,144	50,967	28.8%
8. 減価償却費	1,035,636				1,035,636		
9. 資産減耗費	50,100				50,100		
10. その他営業費用							
2. 営業外費用	244,316		0	0.0%	244,316	0	0.0%
3. 特別損失	1,805	25	115	6.3%	1,690	464	25.7%
4. 予備費	20,200		20,200		20,200		
<b>10. 資本的収入 (繰越含む)</b>	<b>2,640,209</b>	<b>229,824</b>	<b>230,840</b>	<b>8.7%</b>	<b>2,409,369</b>		
1. 企業債	1,414,300				1,414,300		
2. 負担金・補償金	290,301	229,047	229,047	78.9%	61,254		
3. 補助金	347,554				347,554		
4. 出資金	576,002				576,002		
5. 加入金	12,052	778	1,793	14.9%	10,259		
9. その他資本的収入							
<b>11. 資本的支出 (繰越含む)</b>	<b>3,884,618</b>	<b>2,572</b>	<b>5,306</b>	<b>0.1%</b>	<b>3,879,312</b>	<b>1,374,789</b>	<b>35.4%</b>
1. 建設改良費	3,229,570	2,572	5,306	0.2%	3,224,264	1,374,789	42.6%
1. 取水施設整備費	1,118,656				1,118,656	999,972	89.4%
2. 導水施設整備費	216,540				216,540	205,308	94.8%
3. 浄水施設整備費	109,129				109,129		
4. 送水施設整備費	481,140				481,140		
5. 配給水施設整備費	1,301,081	2,572	5,306	0.4%	1,295,775	169,509	13.0%
6. 消防設備整備費	3,024				3,024		
2. 企業債償還金	655,048				655,048		
<b>12. たな卸し資産購入限度額</b>	<b>57,365</b>	<b>1,782</b>	<b>2,316</b>	<b>4.0%</b>	<b>55,049</b>	<b>27,344</b>	<b>47.7%</b>
①有収水量	8,000,000	698,340	1,345,811	16.8%	6,654,189		
②供給単価	283.88	285.24	286.68	101.0%	△ 2.80		
③給水原価	258.40	100.78	72.56	28.1%	185.84		
<b>人件費</b>	<b>14,668</b>	<b>17,681</b>	<b>1,053</b>	<b>0.4%</b>	<b>239,038</b>		
1. 収益的収支	11,971	15,144	1,053	0.5%	200,038		
1. 職員給与費	11,971	14,967	1,053	0.5%	199,528		
2. 特別職 (報酬、賃金等)		177	177		△ 177		
2. 資本的収支	2,697	2,537	5,234	194.1%	△ 2,537		
* 職員給与費	14,668	17,504	1,053	0.4%	238,528		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	0.5%	7.5%	0.6%				
2. 全職員	0.6%	8.8%	0.6%				

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
<b>A. 固定資産</b>	<b>43,059,091</b>	<b>43,064,388</b>	<b>5,296</b>	
*減価償却累計額	18,174,387	18,174,387		
<b>B. 流動資産</b>	<b>3,658,830</b>	<b>3,553,295</b>	<b>△ 105,535</b>	
1. 現金預金	2,796,809	2,671,884	△ 124,925	
2. 未収金	820,666	540,491	△ 280,175	
3. 貸倒引当金	△ 500	△ 500		
4. 貯蔵品	33,973	30,869	△ 3,105	
5. 前払費用・前払金	190	304,211	304,021	工事前払金等
6. その他		5,840	5,840	仮払消費税
<b>D. 水道事業費用</b>		<b>92,104</b>	<b>92,104</b>	
1. 営業費用		91,997	91,997	
2. 営業外費用		0	0	
3. 特別損失		106	106	
<b>1. 借方合計=A+B+C+D</b>	<b>50,118,489</b>	<b>50,110,353</b>	<b>295,886</b>	
<b>E. 固定負債</b>	<b>11,281,820</b>	<b>11,281,820</b>		
1. 企業債	10,994,615	10,994,615		
2. 引当金	287,205	287,205		
<b>F. 流動負債</b>	<b>1,547,494</b>	<b>940,300</b>	<b>△ 607,194</b>	
1. 企業債	655,044	655,044		H28年度償還元金
2. 未払金	825,284	185,950	△ 639,334	
3. 前受金	112	103	△ 9	
4. 引当金	55,109	43,718	△ 11,391	・賞与引当金・修繕引当金
5. 資本的収入整理勘定				
6. その他	11,945	55,485	43,540	
うち仮受消費税		29,330	29,330	
<b>G. 繰延収益</b>	<b>9,443,211</b>	<b>9,673,918</b>	<b>230,707</b>	
1. 長期前受金	9,443,211	9,673,918	230,707	償却資産に係る財源のうち、補助金、補償金・負担金・受贈財産等
* // 収益化累計額	3,400,567	3,400,567		
<b>H. 資本金</b>	<b>9,340,661</b>	<b>9,340,661</b>		
1. 自己資本金	9,340,661	9,340,661		・固有、繰入 (出資)、組入
2. 借入資本金				=企業債元金→負債勘定へ
<b>J. 剰余金</b>	<b>330,417</b>	<b>330,416</b>	<b>△ 1</b>	
1. 資本剰余金	22,900	22,900		・非償却資産にかかるもの
2. 利益剰余金	307,517	307,516	△ 1	
<b>K. 水道事業収益</b>		<b>368,352</b>	<b>368,352</b>	
1. 営業収益		358,662	358,662	
2. 営業外収益		9,543	9,543	
3. 特別利益		147	147	
<b>2. 貸方合計=E+F+G+J+K</b>	<b>50,118,489</b>	<b>50,110,353</b>	<b>△ 8,135</b>	

a. 供給単価 (円、銭)	265.44	=給水収益÷有収水量	
b. 給水原価 (円、銭)		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除く	
①実数値	68.36	=原価算入額÷有収水量	当月予算
②シミュレーション	226.87	原価算入額に減価償却費の「経過月数/12」を加えたもの	
c. 施設利用率	76.87%	=一日平均配水量÷施設能力	
d. 有収率	84.19%	=有収水量÷配水量	
e. 流動比率	377.89%	=流動資産÷流動負債	
f. 現金預金比率	284.15%	=現金預金÷流動負債	

\*供給単価、給水原価は損益ベースであること

平成28年 5 月期 業務実績報告書(水道管理課)

一 般 事 項

1 料金調定関係

項 目	単 位	A 当 月 期	B 当年度累計	C 計 画 累 計	D 前年度同月累計	E 対 計 画 比 較	F 対 前 年 比 較
1 調定件数	件	30,788	61,503	61,800	61,380	△297	123
2 調定水量	m <sup>3</sup>	694,093	1,337,311	1,367,700	1,369,886	△30,389	△32,575
3 調定料金(税抜)	円	184,437,966	357,235,200	361,900,000	362,586,019	△4,664,800	△5,350,819
4 口振加入件数	件	25,528	50,932	-	51,057	-	△125

2 給水業務関係

項 目	単 位	A 当 月 期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対 前 年 比 較 (B-C)
5 給水人口	人	81,722	-	82,499	△ 777
6 給水件数	件	30,609	-	30,508	101
7 開栓処理件数	件	259	914	816	98
8 閉栓処理件数	件	287	636	558	78
9 給水工事設計審査	件	50	129	131	△ 2
10 給水工事竣工検査	件	123	226	120	106
11 経年メーター交換	件	289	331	306	25
12 メーター口径変更	件	1	5	2	3
13 月末停止件数	件	△ 2	77	70	7

3 料金徴収関係

項 目	A 当 月 末 未 収 額		B 収 納 率		C 前 年 同 期 未 収 額		D 収 納 率	
14 当年度分	209,174,945	円	45.80	%	215,079,516	円	45.08	%
15 過年度分	8,157,752	円	95.79	%	8,014,639	円	95.71	%
16 全 体 (計)	217,332,697	円	-		223,094,155	円	-	

4 給水装置工事指定業者

迫町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
20	8	16	12	13	9	8	14	7	107	115	222

5 入札・契約

(左:累計 右:当月)

項目	累計 (落札件数/入札件数)		工事請負		設計業務		業務委託		物品購入		その他	
入札件数	24/24	11/11	4/4	4/4	4/4	2/2	5/5	3/3	11/11	3/3	0/0	0/0
契約締結	一般	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	指名	16	6	3	3	2	1	1	0	10	2	0
	随契	7	4	0	0	2	1	4	2	1	1	0
合計	24	11	4	4	4	2	5	2	11	3	0	0

※入札中止 当月 0件:累計0件/入札不調 当月 0件:累計 0/入札取消 当月 0件:累計 0件/未契約 0件

6 竣工等検査

検査種類	累 計	当月件数	内 容
竣工検査	0	0	
中間検査	0	0	
合 計	0	0	

7 主な行事・会議

会 議 名	日 時	内 容
部長等連絡調整会議	9日	5月期 事業打合せ等
事業調整会議	10日	第2回 部長等連絡調整会議復命、日程調整
経営分析会議	20日	4月期 経営概況、残高試算表、月報、監査復命
水道事業連絡会議・料金徴収等管理業務委託会議	11日	第2回 業務報告、日程確認、業務打合せ等
安全衛生委員会	10日	第2回 行事計画、日程調整等
水道ブースター会議	26日	5月期 水道週間について
給水拠点設置訓練	23日	第2回 消防本部
例月出納検査	24日	4月分 例月出納現金検査
指名委員会	12・26・31日	第4回・第5回・第6回
入札	12・25日	8件・3件
緊急メールの発出	-日	漏水情報10、浄水場関係1、配信訓練1

特 記 事 項

1. 5月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

ア 収益的収支

当期の給水収益は199,193千円(税込)で、前月期に比べて12,572千円の増で、予算執行率(累計)は20.5%(前年度17.3%)、対前年同月比(税抜)では6,572千円の減となっています。営業収益は手数料収益666千円を含む199,859千円、営業外収益は事務手数料3,632千円を含む4,086千円となりました。

当期の営業費用は70,380千円を執行し、累計額は97,648千円、予算執行率(累計)は4.4%(前年度5.6%)となりました。

イ 資本的収支

当期の収入は、配水管移設補償金229,047千円を含む229,824千円を執行し累計では230,840千円となり、執行率(累計)は9.9%(前年度0.1%)でした。

支出は、事務費として2,572千円を執行し、累計では5,306千円となりました。

ウ たな卸し資産購入限度額

当期は、薬品に1,782千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 平成27年度決算の概要

平成27年度登米市水道事業会計決算を調製し、5月20日付けで市長へ提出しました。

なお、概要は次のとおりです。

収益的収入 27億1,124万円 収益的支出 22億2,519万円

資本的収入 25億5,196万円 資本的支出 35億6,744万円

当年度純利益 3億 752万円

給水収益は、21億2,141万円(税抜)(予算比2,851万円増、対前年比1,293万円増)で決算しました。

(2) 第3回施設更新計画策定委員会を開催

5月23日(月)に今年度初めてとなる第3回登米市水道事業施設更新計画策定委員会を開催しました。

今回のテーマは「施設更新計画における水需要予測について」ということで、今後10年間の給水人口を予測(暫定試算)と、それに基づいた各浄水場の系統別と、配水系統別の水需要の予測を示し各委員からの意見を伺いました。

また、次回の開催は8月を予定し、テーマは「保呂羽浄水場を含む施設の再構築・再配置について」となります。



委員会の開催風景

(3) 公営企業の経営のあり方に関する研究会に佐藤所長が出席

第1回「公営企業の経営のあり方に関する研究会」が5月25日(水)に総務省で開催され、佐藤所長が構成員としての依頼を受けたことから管理者の承認を得て出席しました。また、9回程度の開催予定です。

公営企業は、地域において住民の暮らしを支える重要な役割を担っていますが、高度経済成長期以降に急速に整備された社会資本が大量に更新時期を迎えつつあり、人口減少に伴う収入減等も見込まれる等、取り巻く経営環境は厳しさを増しています。また、官民連携の導入や広域化など地域の実情に応じた検討も進められています。

こうしたことを踏まえて、公営企業の廃止・民営化・広域化・民間活用について検討を行い、関係者の意見を聞きながら改革に関する考え方や、課題、方策等について整理を行うことを目的としています。

なお、構成員は政府系銀行1名、公営企業3名、大学関係6名、シンクタンク1名となっています。

(4) 東日本大震災給水装置被害状況報告書作成委員会に鈴木(哲)課長補佐が出席

第1回「東日本大震災給水装置被害状況報告書作成委員会」が5月30日(月)に(公財)給水工事技術振興財団で開催され、鈴木(哲)課長補佐が委員としての依頼を受けたことから、管理者の承認を受け出席しました。これは、東日本大震災時の大量の復旧工事資料から、今後の給水装置の耐震性の向上を目的として報告書を作成するものです。なお、委員は国立研究所1名、大学関係2名、水道事業体4名、水道関係団体2名で、計3回程度開催される予定です。



# 平成28年 5月期 業務実績報告書 ( 水道施設課 )

## 一 般 事 項

### 経営分析の状況

#### ◎配水量の状況

(単位: m<sup>3</sup>)

項 目	A 当月実績	B 実績累計	C 計画累計	D 前年累計	E 比 較	
					対計画 B-C	対前年度 B-D
総取水量	849,617	1,667,897	1,663,270	1,709,361	4,627	-41,464
総配水量	817,315	1,598,591	1,616,120	1,630,445	-17,529	-31,854
1 有効水量	747,564	1,442,325	1,478,680	1,477,809	-36,355	-35,484
(1)有収水量	698,340	1,345,811	1,376,100	1,378,341	-30,289	-32,530
(2)無収水量	49,224	96,514	102,580	99,468	-6,066	-2,954
2 無効水量	69,751	156,266	137,440	152,636	18,826	3,630
(1)漏水量	69,435	155,845	136,000	152,393	19,845	3,452
(2)その他無効水量	316	421	1,440	243	-1,019	178
3 有収率	85.44	84.19	85.15	84.54	-0.96	-0.35

※当月期の最大配水量は、5月3日(火)に記録した【28,068m<sup>3</sup>】です。当年度最大配水量 4月28日【29,667m<sup>3</sup>】

#### ◎主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業等の状況	予 算 額 (A)		施 工 中 額 (B)		竣 工 額 (C)		残 額 (D)=A-(B+C)	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	金 額	率%
ア 取水施設整備事業	4	1,118,656	3	999,972	0	0	118,684	89.4%
イ 導水施設整備事業	2	216,540	2	205,308	0	0	11,232	94.8%
ウ 浄水施設整備事業	14	109,129	0	0	0	0	109,129	0.0%
エ 送水管整備事業	1	481,140	0	0	0	0	481,140	0.0%
オ 配給水施設整備事業	71	1,165,263	4	37,919	0	5,306	1,122,039	0.5%

\*注1 件数及び金額は工事+委託(事務費・人権費含む)の合計です。

#### ◎毎日検査

※おいしい水の目安 遊離残留塩素0.4mg/L以下

	保呂羽浄水場 F1遊離残留塩素	保呂羽浄水場水系 (測定戸数: 7)	東和町水系 (測定戸数: 9)	石越町水系 (測定戸数: 1)	大萱沢浄水場水系 (測定戸数: 2)
平均	0.55	0.38	0.43	0.45	0.39
最低	0.53	0.13	0.20	0.40	0.20
最高	0.58	0.51	0.70	0.50	0.50

#### ◎登米水道の放射性物質測定結果

採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)		採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)	
		セシウム134	セシウム137			セシウム134	セシウム137
保呂羽浄水場	H28.5.20	<0.9	<0.8	米谷水系浄水場	H28.5.20	<0.8	<1.0
石越浄水場	H28.5.20	—	—	楼台浄水場	H28.5.20	<0.7	<0.7
大萱沢浄水場	H28.5.20	<0.9	<0.8	合の木浄水場	H28.5.19	<0.9	<1.0
米川水系浄水場	H28.5.20	<0.9	<1.0	大綱木浄水場	H28.5.19	<0.8	<0.9
錦織水系浄水場	H28.5.20	<1.0	<0.7	—	—	—	—

## 特 記 事 項

### 1 第58回水道週間「記念植樹」開催

31日午後1時30分、登米町日根牛上羽沢(市有林)地内で第58回水道週間記念植樹が行われました。

水源かん養林として、雨水を吸収し水源を保ち、あわせて河川の流量を調節する森林を目指し、登米町森林組合の指導のもと、登米中学校1・2年生84名(他引率教員8名)により、ヤマザクラ、キハダ、カツラの苗木300本を植樹しました。

植樹は包括業務受託者、農林政策課の協力を得て、水道事業所職員とあわせ29名が作業の補助にあたりました。



### 2 石越浄水場混和池急速攪拌機故障

5月17日石越浄水場において急速攪拌機の故障を確認し、取水を停止し保呂羽浄水場からの配水に切り替えました。同機は、原水へ水処理薬品(ポリ塩化アルミニウム、次亜塩素酸ナトリウム等)を注入し攪拌するために混和池に設置しているもので、薬品処理による浄水処理施設では凝集沈殿を左右する機器です。

「浄水施設等管理運転業務」受託者(明電舎・アイ・ケー・エス共同企業体)では応急対応として旧石越浄水場の既設機器を転用し、試験運転の結果安定した浄水処理が確認されたことから、5月23日に浄水処理運転を再開しました。

同機は当年度更新予定機器で、6月に契約予定です。



### 3 新田配水池供用開始区域拡大

4月26日供用開始した南方町の一部(約570戸)に、5月25日から(南方町青島区、須崎区、平貝区、畑岡区、苔ノ谷地上・下区の約280戸)を対象に供用区域を拡大しました。

今年度は、さらに6月にかけて給水区域の拡大(米山町栗ヶ崎区、千貫区、瀬ヶ崎区、斉藤区、清水区、城内区、六軒屋敷区の約730戸)を図り、平成28年度は1,580戸を対象に、約1,200m<sup>3</sup>/日の配水量を予定しています。

給水区域変更により「浄水施設及び配水施設等維持管理業務」受託者との情報を密にし、安定給水の拠点施設として供用していきます。

### 4 平成28年5月の漏水調査結果について

5月末の漏水調査の結果3件0.96m<sup>3</sup>/h(累計)の漏水を発見しています。計画有収率85%を目標に調査を実施します。

### 5 地震発生状況

平成27年5月13日以来、登米市内における震度4以上の地震は発生しておりません。

漏水調査結果	施設	件数	漏水量(m <sup>3</sup> /h)
	配水管	2	0.66
	付属施設	0	0.00
	給水管	1	0.30
	計	3	0.96